

平成 31 年度 音楽

教科	音楽	科目	ソルフェージュ(専門コース)	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	標準版コールユーブンゲン (全音楽譜出版社)						
副教材等	自作教材						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・「視唱」「視奏」「聴音」の3つの内容を年間通して学習し、音楽を形づくっている要素を正しくとらえる力を身につけます。
- ・音楽を感覚的にとらえるだけにとどまらず、音楽を形づくっている要素を、音を出し、音を聴くことで体感します。
- ・この授業で学習する内容は、「音楽理論」や「(学) 声楽演習」の授業と相互に関連しています。
- ・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技試験で評価します。なお、a:「関心・意欲・態度」b:「創意工夫」c:「技能」の3観点で評価します。
- ・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2 学習の到達目標

音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a: 音楽への関心・意欲・態度	b: 音楽表現の創意工夫	c: 音楽表現の技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽を作るかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート 演奏聴取 (実技試験)	演奏の聴取 課題提出 演奏聴取 (実技試験)	
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学 期	題 材 名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	B	c	D		
1 学 期	視 唱・ 視 奏	【視唱】 2度～7度 基本的な音程の歌唱	○	○			a: 基本的な歌唱法を理解し、興味・関心をもっている。 b: 音程の違いをイメージして、表現を工夫している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		【視唱】 「コールユーブンゲン」 No.1～No.16 【視奏】 リズム視奏	○	○	○		a: 基本的な歌唱法・記譜法を理解し、興味・関心をもっている。 b: 楽譜から音高・リズムをイメージして、表現を工夫している。 c: 楽譜から得た音高・リズムのイメージを基に、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
2 学 期	視 唱・ 視 奏	【リズム聴音】 1小節聴き取り →書き取り →徐々に長く 【音高聴音】 一定の長さで音高の変化を書き取り 【聴音】 簡単な単旋律聴音	○	○	○		a: 旋律を形づくっている要素（リズム・音高の変化）の働きに興味・関心をもっている。 b: 旋律を形づくっている要素を基に、楽譜として表現する工夫をしている。 c: 旋律を形づくっている要素を生かして、楽譜として表現するための技能をもっている。	観察 ワークシート
		【視唱】 「コールユーブンゲン」 No.17～No.29 【視奏】 リズム視奏 簡単な旋律視奏	○	○	○		a: 基本的な歌唱法・記譜法を理解し、興味・関心をもっている。 b: 楽譜から音高・リズムをイメージして、表現を工夫している。 c: 楽譜から得た音高・リズムのイメージを基に、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
2 学 期	聴 音	【聴音】 リズム課題 8小節単旋律課題 (調号なし) 和音聴音	○	○	○		a: 旋律を形づくっている要素（リズム・音高の変化）の働きに興味・関心をもっている。 b: 旋律を形づくっている要素を基に、楽譜として表現する工夫をしている。 c: 旋律を形づくっている要素を生かして、楽譜として表現するための技能をもっている。	観察 ワークシート

3 学 期	視 唱 ・ 視 奏	【視唱】 「コールユーブン ゲン」 No.30～No.36 新曲視唱 【視奏】 リズム視奏 簡単な旋律視奏	○	○	○	a: 基本的な歌唱法・記譜法を理解し、 興味・関心をもっている。 b: 楽譜から音高・リズムをイメージし て、表現を工夫している。 c: 楽譜から得た音高・リズムのイメー ジを基に、表現したいことを伝える ための技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	聴 音	【聴音】 複リズム課題 8小節単旋律課題 (調号2つ程度) 和音聴音	○	○	○	a: 旋律を形づくっている要素（リズ ム・音高の変化）の働きに興味・関 心をもっている。 b: 旋律を形づくっている要素を基に、 楽譜として表現する工夫をしてい る。 c: 旋律を形づくっている要素を生か して、楽譜として表現するための技 能をもっている。	観察 ワークシート

※ 表中の観点について a: 音楽への関心・意欲・態度 b: 音楽表現の創意工夫
c: 音楽表現の技能 d: 鑑賞の能力

※ 原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の3観点で、「鑑賞」の分野は a, d の2観
点で評価をする。

※ 年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において
重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。